

Car Goods Magazine

[カー用品専科・月刊誌]

マイカーライフ、一年の総決算!

[カーグッズマガジン]



2023

2

February

定価 660 yen

(税込)

2022年12月16日発売
(毎月17日発売)

愛車生活

行く年、来る年。

傑作で振り返る
カーグッズの2022年

発表!

カーグッズ・オブ・ザ・イヤー

充実の作業を演出する
お役立ちグッズの手引き

特集

愛車の大そうじ ケース・スタディ



一年の労をねぎらう
エンジンへのご褒美

よりすぐり【型録】 OILサプライ

集中
特集

新年に向けた
充実ドライブ未来投資

カー電モダニズム



ゴロ直伝！ アクワイエで得る 確かな音響効果とそのやり甲斐



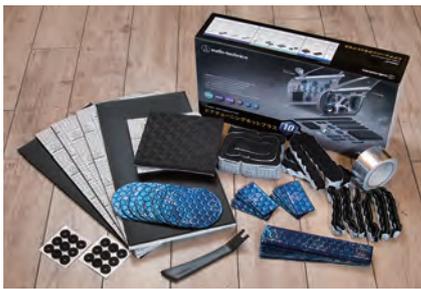
まとめ：太田祥三 写真：前田恵介

専用工具を使わずにドア2枚をフルチューニング！

AquieT
ドアチューニングキットプラス
AT-AQ409

価格：2万4750円

『アクワイエ』シリーズにはキットがいくつかあるが、当品は新部材も封入された最新版。吸音材が貼り合わされた制振材とアルミガラステープが加えられ、よりディープにドアチューニングを実行できる。使いやすい作業用の2ウェイヘラも封入済みだ。



外来ノイズの侵入を低減可能な四層構造の新マテリアル！



AquieT
サウンドインシュレーションシールド
AT-AQ480

価格：3740円

制振ブチルゴム層、制振用アルミシート、スポンジ層（吸音・断熱層）、ソフトゴムマット（遮音層）、これら異種四層構造により高い遮音・断熱・吸音・制振効果を発揮する。当品も粘着性と凹凸への追従性が高いので、専門工具を使わず施工可能だ。

車内環境を快適化したいと考えるドライバーが増えている。その思いを叶えられる魅力的なアイテムが、オーディオテクニカから発売されている。ここでは、それらを使うことでどんな効果が得られるのか、そしてそれを自ら施工しようとするときのコツまでを解説する。

デッドニングは実は DIYでも楽しめる！？

車内を快適化するにはさまざまなポイントがあるが、オーディオテクニカの『アクワイエ』シリーズの各アイテムを使うと、以下の2つのアプローチにてそれを実現可能だ。一つは、車内の（特にドア内部の）音響的なコンディションを高め音楽をより良い音で楽しめるようにするというやり方で、もう一つは、車内を静かに

するというやり方だ。



左右のドアで施工内容を同一にするのが鉄則。なので制振材を切り出す際には型紙を作ろう。反対側の部材は型紙を裏返して切り出せば、左右対称の部材を作れる。なお口グオンでは、養生テープで型紙を作っていた。半透明なので型を取りやすいのだ。

ところで『アクワイエ』シリーズの各アイテムは基本的に、販売店にて施工することが前提だ。しかし昨今はクルマいじりを楽しむドライバーが増えていて、デッドニング（オーディオテクニカではこれをドアチューニングと呼んでいる）や車内静音化メニューがDIYにて行われることも少なくない。

実際、これらは自分でやっても楽しめる。なぜなら、デッドニングは基本的に改造作業を伴わない。つまり作業そのものの難易度はそれほど高くない（特にオーディオテクニカの各アイテムは、専用工具を使わずに施工可能だ）。ただし内装パネル類の取り外し作業は簡単ではなくその作業にはドライバー等の基本工具が必要になるが、パネル外しのスキルさえあればその他の作業は難しくない。

プロがレクチャー! ドアチューニングの勘どころ



当キットは部材がたっぷり入っている。ちなみにテスト車両はSUVでドアは大きめだったが、過不足なく施工できた。なお、テスト車両ではサービスホールからの雨水の浸入を防ぐビニールシートが使われていなかったが、それが装着されている場合は、シートとそれを接着するプチルゴムをキレイに取り除くことが肝要となる。



ドアトリムの密閉性を上げるベシ!
 ドアの内張りパネルのガタツキを防ぎ、さらには密閉性を高めるための防音材も3タイプ入っている。パネルが当たる部分、上部のひっかける部分、そしてクリップ部分にそれぞれを貼る。



スピーカーの周りは重点的に!
 当キットには、スピーカー周辺の共振を抑えるためのポイント制振材が入っているのでそれを貼り、さらには再生音の内張りパネル内への回り込みを減らすための防音材も封入済みなので、それをスピーカーの周囲に貼る。

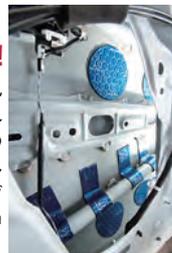


カバーの共振も止め音をクリアに!
 テスト車両では、ビニールシートのかわりにカバーが装着されていた。そのカバーの共振と、スピーカー裏側からの音の回り込みを抑制する観点で制振・吸音材を貼った。カバーのない通常の車両では、アルミガラステープと遮音・吸音材にてサービスホールを塞ごう。



「スピーカーコースター」で背圧を処理!
 ドアチューニングではまず、スピーカーの真裏での「背圧(音エネルギー)」の処理を行おう。なぜなら、それが鉄板を共振させる元凶となるからだ。当キットにはそれのある程度吸収可能な部材が同梱されているので、それを貼る。

共振しやすいドア中央に手厚く処置を!
 当キットには、短冊状に、そして丸くカットされた制振材が入れている。前者はアウターパネルのインバクトビームに、後者は共振しやすい平らな面に貼っていく。ログオンの小溝さん曰く、特にドアの中央ほど共振しやすいとのことだ。



ボンネットへの施工も車内静音化効果が大きい!



コツは、「脱脂」と「圧着」!
 ボンネット1枚に対しては「AT-AQ480」を2箱用意しておくこと。なお部材を貼る際には、どこに施工するにせよ施工箇所の「脱脂(汚れ落とし)」と「圧着」がキモとなる。これらをしっかり行うことで、より強力に貼れて効果も高まるとのことだ。



before
 ボンネットインシュレーターが装着されている車種なら、その内側に「AT-AQ480」を貼ることで、エンジンルームの騒音を外に漏れにくくでき、またボンネットに当たる雨音も小さくなる。なおインシュレーターを固定するクリップは1度外すと緩くなる場合が少なくないので、新品のクリップを用意しておきたい(写真はともにインシュレーターを外した状態で撮影)。



取材協力プロショップ 『サウンドエボリューション ログオン』

千葉県流山市東深井41-2 ☎04-7193-8690
<https://www.logon.gr.jp/>
 AM11:00~PM8:00
 定休日: 火曜日・水曜日



サウンドコンテストでの入賞実績も豊富な実力あるカーオーディオ専門店。試聴可能なスピーカーが24機種セットされたデモボードも完備(その規模は日本最大級)。写真左は、同店代表の小溝裕豪さん。

もちろん、セオリーやノウハウが多々あるので、より確実な効果を出したいと思えばプロの力を借りるべきだ。しかし、DIYでも形になる。自己責任のもと、やるのはアリだ。しかも、効果のほども実感しやすい。特に「アクワイエ」シリーズの各品は効果目も確かなので、大きなやり甲斐を味わえる。

とはいえコツがある。なので今回ここでは、プロの施工方法を紹介し各作業の目的と効果を解説しながら、作業の勘どころを解説していく。車内環境の快適化に興味を抱くドライバー諸氏は、要熟読!